

鹿児島大学地域防災教育研究センター 教職員一覧

【センター長・部門長・分野責任者・特任教員】

部門・分野	氏名	所属(学術研究院・センター)	職名	専門分野
センター長	浅野 敏之	理工学域 工学系	教授	海岸工学、環境水理学
教育部門部門長	小林 励司	理工学域 理学系	准教授	地震学
地域連携部門部門長	安達 貴浩	理工学域 工学系	教授	環境流体力学、沿岸環境学
	下川 悦郎	地域防災教育研究センター	特任教員	砂防工学、森林科学
調査研究部門部門長	地頭 園隆	農水産獣医学域 農学系	教授	砂防学、水文学
総合防災分野分野責任者	黒光 貴峰	法文教育学域 教育学系	准教授	家政・生活学一般、家庭科教育・住教育・防災教育
水害・土砂災害分野分野責任者	寺本 行芳	農水産獣医学域 農学系	准教授	砂防学
火山災害分野分野責任者	眞木 雅之	地域防災教育研究センター	特任教員	自然災害、気象学
	石 峯 康浩	地域防災教育研究センター	特任助教	火山学
地震・津波災害分野分野責任者	柿沼 太郎	理工学域 工学系	准教授	海岸工学、海洋物理学、津波工学
放射線災害分野分野責任者	松 成 裕子	医歯学域 医学系	教授	基礎看護学

【センター兼務教職員】

所属	氏名	職名	所属	氏名	職名
法文教育学域	松田 忠大	教授	農水産獣医学域	西 隆一郎	教授
	森尾 成之	教授		鈴木 廣志	教授
	小林 善仁	准教授		山本 智子	教授
	南 直子	助手		小澤 真	准教授
	佐藤 宏之	准教授		松 鶴 彩	准教授
	関山 徹	准教授		有田 和徳	教授
	福満 博隆	准教授		乾 明夫	教授
	松井 智彰	准教授		垣花 泰之	教授
	深瀬 浩三	准教授		佐野 輝	教授
	後藤 和彦	教授		八代 利香	教授
理工学域	井村 隆介	准教授	医歯学域	吉留 厚子	教授
	八木原 寛	助教		丸谷 美紀	教授
	武若 耕司	教授		吉浦 敬	教授
	本間 俊雄	教授		宇都 由美子	准教授
	山口 明伸	教授		兒玉 慎平	講師
	齋田 倫範	准教授		稲留 直子	助教
	酒匂 一成	准教授		日隈 利香	助教
	佐藤 紘一	准教授		森 隆子	助教
	木村 至伸	准教授		馬嶋 秀行	教授
	審良 善和	准教授		菊地 聖史	教授
農水産獣医学域	長山 昭夫	助教	総合科学域	田松 裕一	教授
	加古 真一郎	助教		速見 浩士	准教授
	小池 賢太郎	助教		田中 裕美	副看護部長
	寺岡 行雄	教授		西郷 康正	診療放射線技師長
	岡 勝	教授		土橋 仁美	看護師
	角 明夫	准教授		升屋 正人	教授
	肥山 浩樹	准教授		尾上 昌平	技術専門職員
	加治佐 剛	准教授		冨 永 茂人	特任教員
	平 瑞樹	助教			

(平成29年7月現在)



鹿児島大学地域防災教育研究センター

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40(産学官連携推進センター棟1階)

TEL:099-285-7234 FAX:099-285-8495

E-mail: bousai@kuas.kagoshima-u.ac.jp



鹿児島大学

地域防災教育研究センター

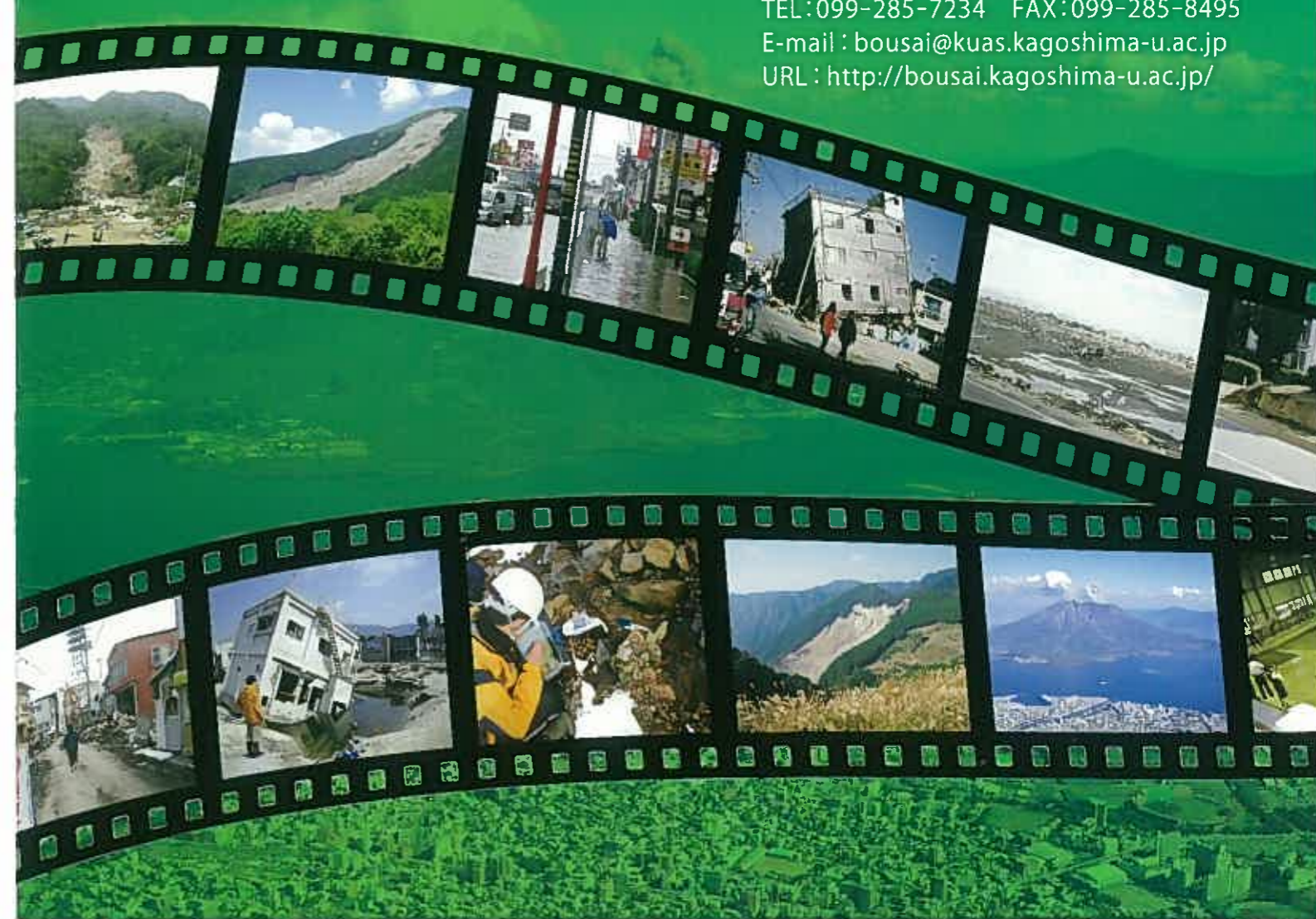
Research and Education Center for Natural Hazards

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40

TEL:099-285-7234 FAX:099-285-8495

E-mail: bousai@kuas.kagoshima-u.ac.jp

URL: http://bousai.kagoshima-u.ac.jp/



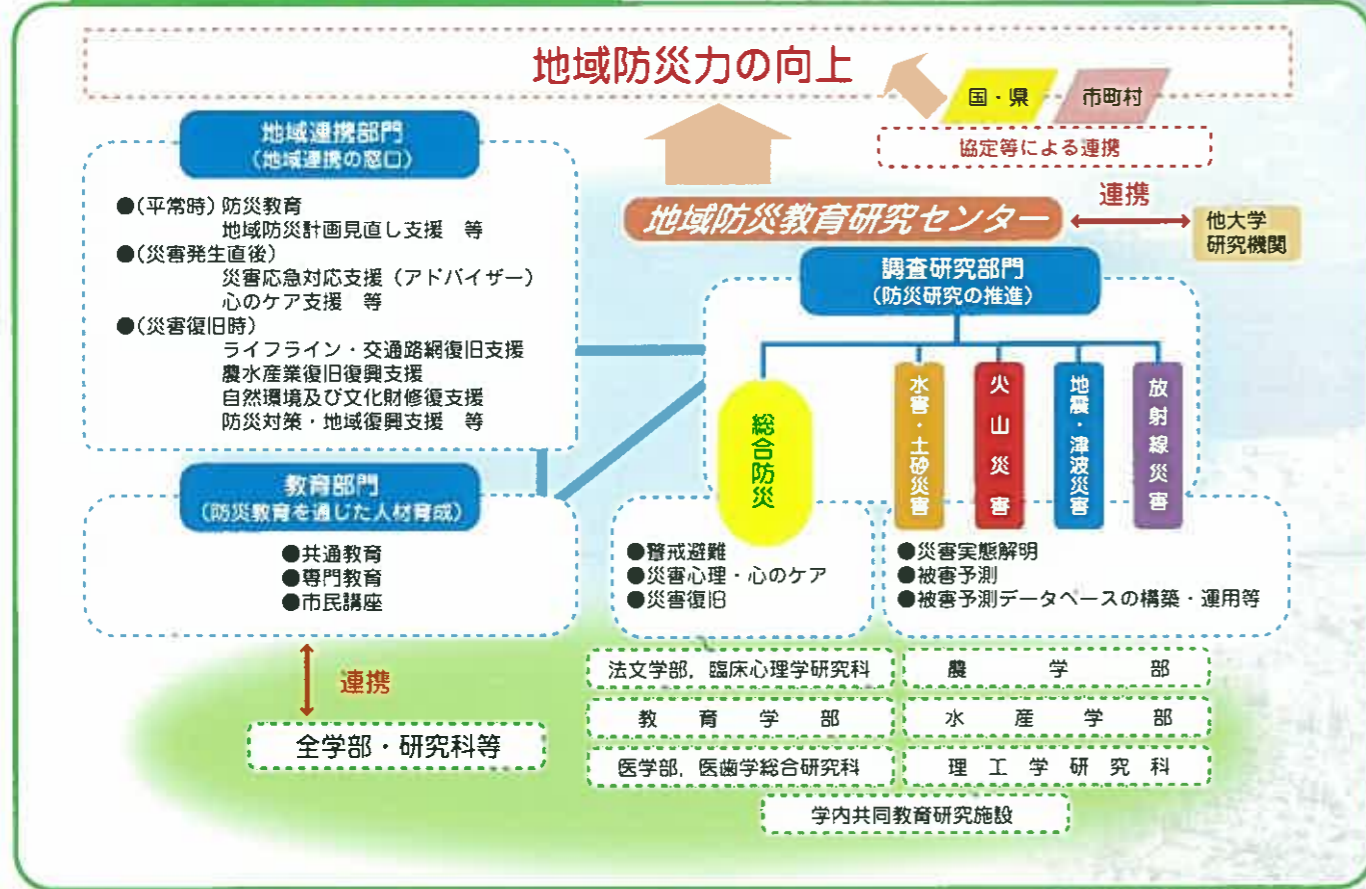


# 鹿児島大学地域防災教育研究センターの目指すべきもの

南九州から南西諸島にかけては、豪雨、台風、火山噴火、地震、津波などに起因する様々な自然災害が発生しています。こうした自然災害による鹿児島県の犠牲者は、第2次大戦後でも不明者も含めて1200人を超えています。

自然災害の防止と軽減を図るため、本センターは、災害の実態解明、災害の予測、防災教育、警戒避難対応、災害応急対応、災害復旧復興等、地域防災の諸課題に地域と連携して取り組み、地域防災力の向上に貢献することを目指しています。

## センターの教育研究・運営体制



## 調査研究部門の活動

調査研究部門は、総合防災、水害・土砂災害、火山災害、地震・津波災害、放射線災害の5分野から構成されます。南九州から南西諸島における様々な災害に関連する研究を推進します。研究成果は教育部門や地域連携部門と連携して防災教育や地域防災力の向上に活用します。

## 地域連携部門の活動

実態調査を踏まえた地域防災の課題解決や、事業所の防災マニュアルおよび事業継続計画の作成支援、桜島をはじめとした火山の大噴火による被害想定に関する調査研究等の事業に、地域と連携して取り組むとともに、教育部門との共同で災害の防災・減災に関する市民講座等の企画運営を行います。

## 教育部門の活動

防災教育では、災害の様々な特性を研究成果を踏まえて理解し、変化する状況に適切に対応できるチカラを養う必要があります。教育部門では、地域連携部門と共同で、教育機関や防災関係機関などと連携して多様な活動を行い、本学および地域の防災力の向上に寄与できる人材の育成に取り組みます。

## 特色ある取組

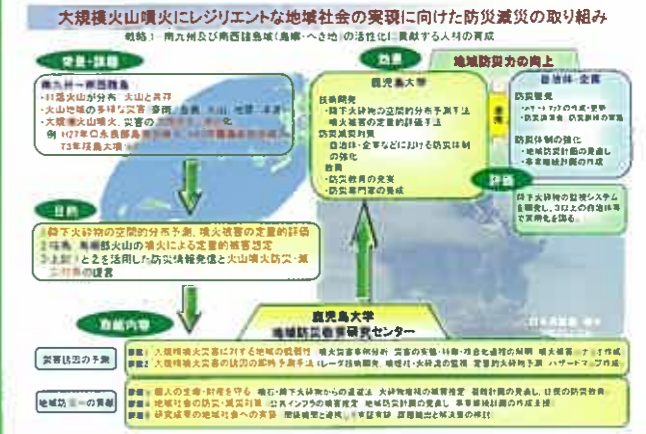
### 防災シンポジウムの開催

センターでは地域防災の様々な課題について、定期的にシンポジウムを開催しています。平成28年度は6月に「口永良部島2015噴火災害対応報告会」、また11月に「防災・日本再生シンポジウム 島嶼の自然災害と防災」と題したシンポジウムを開催し、国立大学が果たす役割や存在意義の重要性について広く社会の理解を得るため、自治体防災関係者や気象台職員、民間企業の防災関係者、一般市民とともに議論しました。



### 大規模火山噴火を想定した防災・減災の取り組み

近い将来、桜島や島嶼部の活火山で大規模な噴火が発生した場合、どのような被害が起きるのか、それを防ぐためにはどのような対策が必要かについて5つの課題を設けて研究を行っています。



### デジタルサイネージを活用した防災啓発に関する社会実験

平時の防災啓発について、地方自治体などと連携してデジタルサイネージ(電子看板)を活用した社会実験をおこなっています。



### 総合的な防災教育および防災士養成研修機関

本学共通教育科目「いのちと地域を守る防災学I」「同II」では、災害全般の基礎知識や鹿児島県の防災事情等を総合的に学びます。これら2科目は公開授業にもなっており、本学学生以外も受講可能です。本学ではこれらの単位取得および学外での救命救急講習の修了証取得によって、NPO法人日本防災士機構認証の「防災士」の受験資格を得られます。

### 総合防災データベース

災害に関係した学内外の資料をデータベース化しています。検索画面: <http://db.koukai.bousai.kagoshima-u.ac.jp/user>



データベースの例: 1938年肝属豪雨被害状況(西ら, 1938)

### 防災教育を中心とした実践的安全教育の支援

鹿児島県および県内市町教育委員会からの要請を受けて、南海トラフ巨大地震津波の来襲想定地域の小・中・高等学校において、避難場所・経路設定や避難施設・設備等の指導助言、避難訓練の実践指導などを行っています。平成28-29年度は大崎町と指宿市で実施しています。写真は大崎町立大丸小学校で行った津波防災出前授業の様子です。



### 気象レーダによる火山噴火やゲリラ豪雨の観測研究

平成27年度の補正予算で、火山噴火やゲリラ豪雨を観測するための気象レーダを整備しました。噴煙柱や火砕流、積乱雲の立体構造を高速で観測することができます。

